

1. 事業の概要

絶滅の危機に瀕した種については、種の絶滅を回避するために、飼育下で安定的に個体数を増やし、野生復帰させることにより、野生個体群の回復を図る必要がある。しかし、飼育下で生育した動物をそのまま放鳥・放獣しても、野生下での生存率は極めて低いことから、野生順化の訓練を行うことが不可欠である。

このため、野生絶滅したトキ及び個体数が危機的レベルにまで低下しているツシマヤマネコについて、以下の事業を行う。

野生復帰計画（プログラム）の策定

野生順化訓練の実施

周辺環境整備に対する支援

野生復帰及びモニタリングの実施

地域住民のコンセンサスづくり

順化施設の整備等は別予算で対応

2. 事業計画

トキに関しては、平成20年度から、ツシマヤマネコに関しては、平成22年度から試験的な放鳥・放獣を計画しており、このために野生復帰計画の策定、野生順化訓練の実施、地域住民のコンセンサスづくりなどを適宜実施していく。

3. 施策の効果

種の絶滅を回避することにより、

生物多様性の確保

周辺環境整備などによる、人間にとっても望ましい自然環境の再生

野生個体数の増減に基づく自然生態系の評価

環境教育の推進

などが図られる。

希少野生動物野生順化特別事業の流れ

野生復帰計画(プログラム)の策定
(順化訓練、放鳥・放獣、その後の監視方法など)

順化施設の設計
(施設整備費)

順化施設の整備
(施設整備費)

順化訓練の実施
(飛行・採餌・繁殖・社会性など)

トキ: H20 ~
ツシヤマネコ: H22 ~

地域住民の
コンセンサスづくり
(普及啓発活動・パンフレットなど)

野生復帰の実施
(放鳥・放獣など)

野生復帰個体の監視
(モニタリング)

<目標>

種の絶滅の回避
野生個体群の回復

周辺環境整備
に対する支援
(ボランティア・NPO活動の支援)

